令和７年度　第５回浦川原区地域協議会　次第

日　時　令和７年８月 26 日（火）
　　午後６時 30 分～
会　場　浦川原コミュニティプラザ
　　市民活動室４・５

１　開　会

２　協　議

⑴　自主的審議事項の選定に向けた今後の取組の方向性について　・・・資料 No.1

⑵　浦川原区地域協議会委員研修について　・・・資料 No.2

３　その他

４　次回の開催日について

日時　９月２５日（木）　１８時３０分から

日時　１０月　　日（　）　１８時３０分から

日時　１１月　　日（　）　１８時３０分から

日時　１２月　　日（　）　１８時３０分から

会場　浦川原コミュニティプラザ　市民活動室４・５

５　閉会

自主的審議事項の選定に向けた今後の取組の方向性について

資料No. 1

区分	名称	可	否	可否の理由について
観光資源のアピール	月影の郷	２人	９人	**＜可の理由＞** ・設備のリニューアルも考えなくてはならない。 ・さらなる施設利用の増加を目指すには、月影地区以外の、中保倉地区・下保倉地区・末広地区の活性化とどう結び付けていくかにかかっている。「月影の郷」の存在感は、まだまだローカルである。 **＜否の理由＞** ・法人化により、自助努力の方向性が感じられる。地域協議会としては、しばらく見守っても良いのではないかと考える。 ・現在、一般客の宿泊や学生の合宿などで活用されている。 ・観光資源として、活動的に動いているイメージなので、今すぐどうこうの話ではない。
	山本ぶどう園	７人	４人	**＜可の理由＞** ・自主的審議事項として取り扱うことには問題はないが、各農園はあくまでも個人経営であり、法人化も難しく、当協議会で何ができるか妙案はない。 ・浦川原唯一の観光ぶどう園として、後世に続いてほしい。法人化等を考えていく必要があると思う。 ・地域おこし協力隊の募集など（ぶどう栽培や、観光園の再生にチャレンジしてみたい人） ・後継者不足、高齢化に伴い、運営が難しくなっているが、誰でも来てもらえる魅力にあふれた地域の宝である。 ・問題点は主に後継者問題であり、水田の大規模圃場整備のように集約し、それを運営する協業化、あるいは新たな経営母体を作る方向性を誰が何時示すかということである。 ・生産者の高齢化、担い手不足を解消するための取組が必要と思う。 **＜否の理由＞** ・地元から改善を望む声が私には聞こえてこないから。
	指定文化財 地域の宝	２人	９人	**＜可の理由＞** ・観光スポットをルート化する。（例：中保倉お宝道） **＜否の理由＞** ・それぞれの文化財・地域の宝を結び付け、観光地化を図ることは素晴らしいとは思うが、管理している団体等がそれを望んでいる状況ではない。 ・個々の文化財の存在箇所から鑑みて、その景観の魅力及び、癒し並びに、レジャーの適地との結びつきを想像することは難しい。文化財そのものの価値を重々説いても広がらない。 ・個々のものを取り上げても観光スポットにはならない。
既存建物の利活用	旧小学校	５人	６人	**＜可の理由＞** ・まだ施設も新しいところがあるので、壊してしまうのはもったいないと思う。 ・学校の利活用の優位性は、いくつもの教室（間仕切り）から成り立っていることである。これを活かすことを探る。①アーティスト、クリエーター、ミュージシャンのアトリエ・スタジオへの貸付。②老人施設への転用。 ・行政も地域も困っている状態なので、何らかの道筋をつけていけばと思う。 ・廃校を利活用する団体・企業が出てこない（サウンディング方式）までは、地域住民でなにか通年を通して利用計画を立てたらどうか。 **＜否の理由＞** ・利活用できればよいことに間違いはないが、協議を重ねてもゴールが見えず、時間ばかり取られるように感じる。 ・速やかな解体と除却を進めるべき。 ・地域で取り組むには、規模が大きいと感じる。
	空き家	５人	６人	**＜可の理由＞** ・区内どこでも問題になっており、現地視察によりそれをさらに強く感じた。物件の再利用、廃墟と化している建物の対策など地域協議会で話し合ってもよい。 ・行政で撤去を行うようにできないか。 ・これからの一番の問題事項だと思う。５年後１０年後、一人暮らしの人がいなくなったときにどうするか考えたい。 **＜否の理由＞** ・選択肢が解体しかない。 ・「空き家対策」ではなく、「空き家活用PJ」を立ち上げられないかと考える。しかし、現状はそのような物件は見当たらないと見受ける。
その他	各町内会	６人	５人	**＜可の理由＞** ・アンケートの結果により変わると思う。 ・２～３の町内会単位で地域課題を洗い出し、共有し、その解決に向け連携することで、コミュニティ化を図る。 ・役員問題、人口減少を考えたときに、他町内会の取組が分かると非常に助かる。 ・アンケートは実施の方向で進行中。 **＜否の理由＞** ・現時点では「否」と考えるが、アンケート取りまとめ後に協議が必要となる可能性はある。 ・各町内会に住まわれている人の年齢層もあるため、変化や取組を求めても難しいと思う。 ・「町内会長へのアンケート」の実施に異論はないが、この調査後に再検討することでよい。
	農業	５人	６人	**＜可の理由＞** ・山間部においては耕作放棄地が年々増え、平場でも耕作を辞める際に後継者を探すのに苦労する。鳥獣対策と併せて協議するべき事項。 ・国の施策の変更もあるが・・・ ・農業（米）は、現在日本でもとても注目されている。 ・生産者の減少、問題点の洗い出し。 **＜否の理由＞** ・単なる勉強会では飽き足らない問題である。専業の農業者及び団体が市の農業主管課と密接に協議し、一定の方向性を出さなければならないと考える。 ・一つの区の協議会事項としては大きすぎると思う。鳥獣対策と一緒に検討する必要があるかと思う。
	鳥獣対策	４人	７人	**＜可の理由＞** ・農業と併せて協議すべき事項。 ・ジビエに関してどこかの場面で食べられる機会があればよいと思うし、イベントにできそうである。 ・人的被害がないようにするための方策案を検討する。 ・住民に現状を知っていただく講習会を定期的に行う。 **＜否の理由＞** ・「ジビエの有効活用」に関する勉強会はやぶさかではない。ただこの問題は、ローカルを超え全国問題である（この地域独自の課題ではない） ・一つの区の協議会事項としては大きすぎると思う。農業の問題と一緒に検討する必要があると思う。

資料No.2

浦川原区地域協議会委員研修について

※（参考）前期の浦川原区地域協議会委員研修一覧

R2	地域自治区と地域協議会について 講師：自治・地域振興課　岡村課長
R3	上越市と地域協議会　～上越市における地域自治区の在り方～ 講師：上越市　野澤副市長　（大浦安合同研修）
	転換点に立つ集落　～どうしても守れない集落・エリアに対してどう向き合うか～ 講師：島根大学　作野教授
	ほくほく線の現状と利用促進に関する研修会 講師：北越急行　小池社長
R4	地域自治推進プロジェクトについて 講師：自治・地域振興課　佐藤参事
	中山間地域のまちづくりに関して地域協議会に期待すること 講師：上越市　小田副市長　（大浦安合同研修）
R5	川谷もよりの地域づくり 講師：星の谷ファーム　天明様
	中山間地域における空き家の利活用 講師：ＮＰＯ法人ざいごう　古澤理事長　（大浦安合同研修）